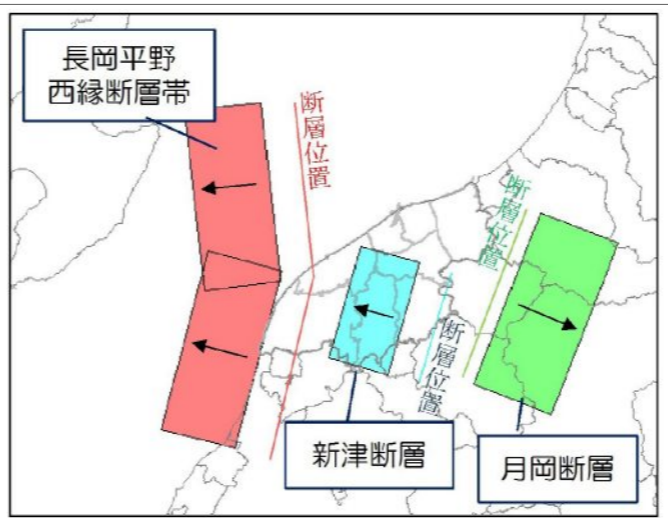


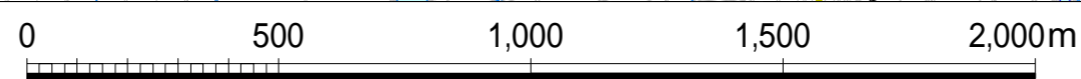
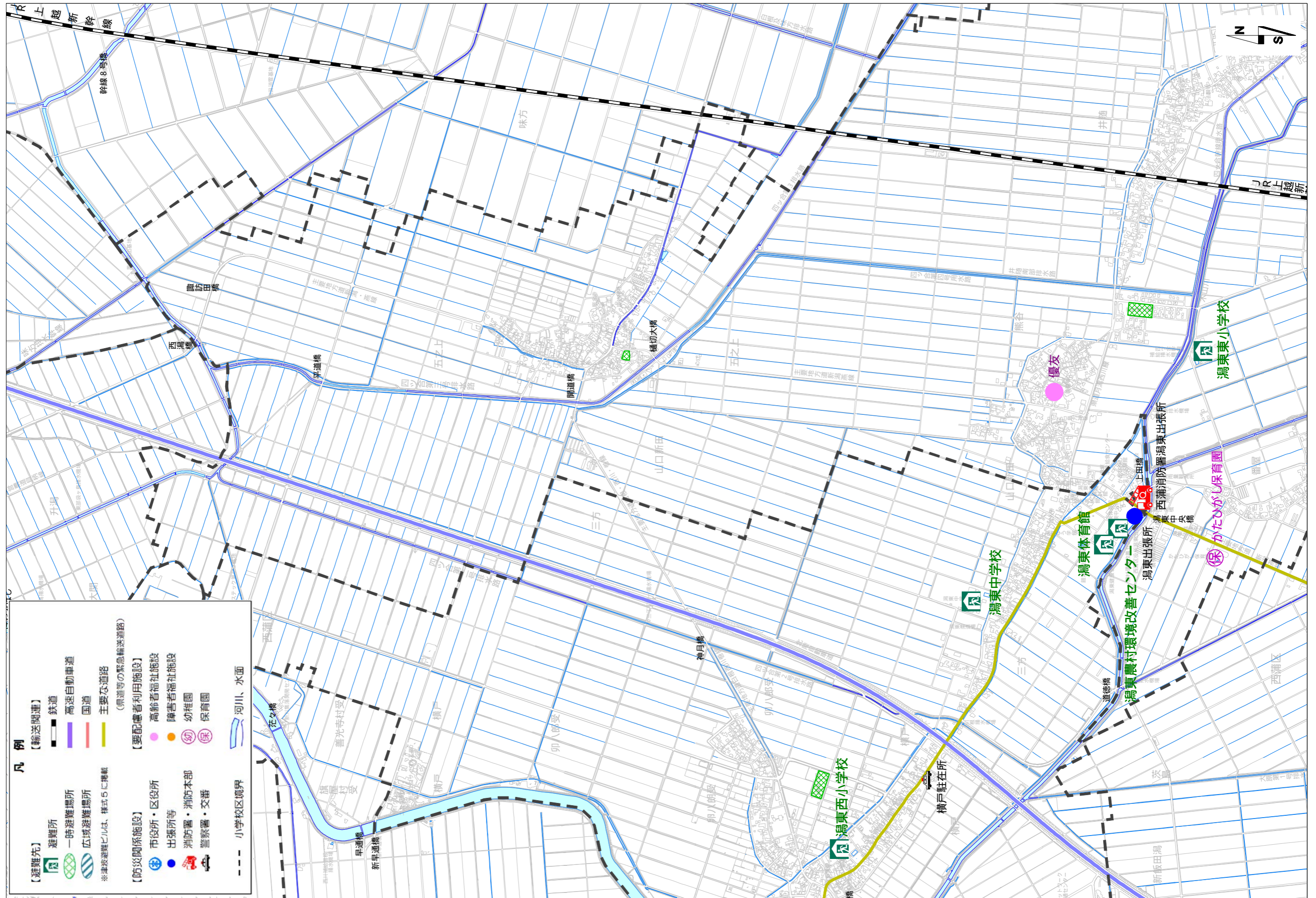
	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度

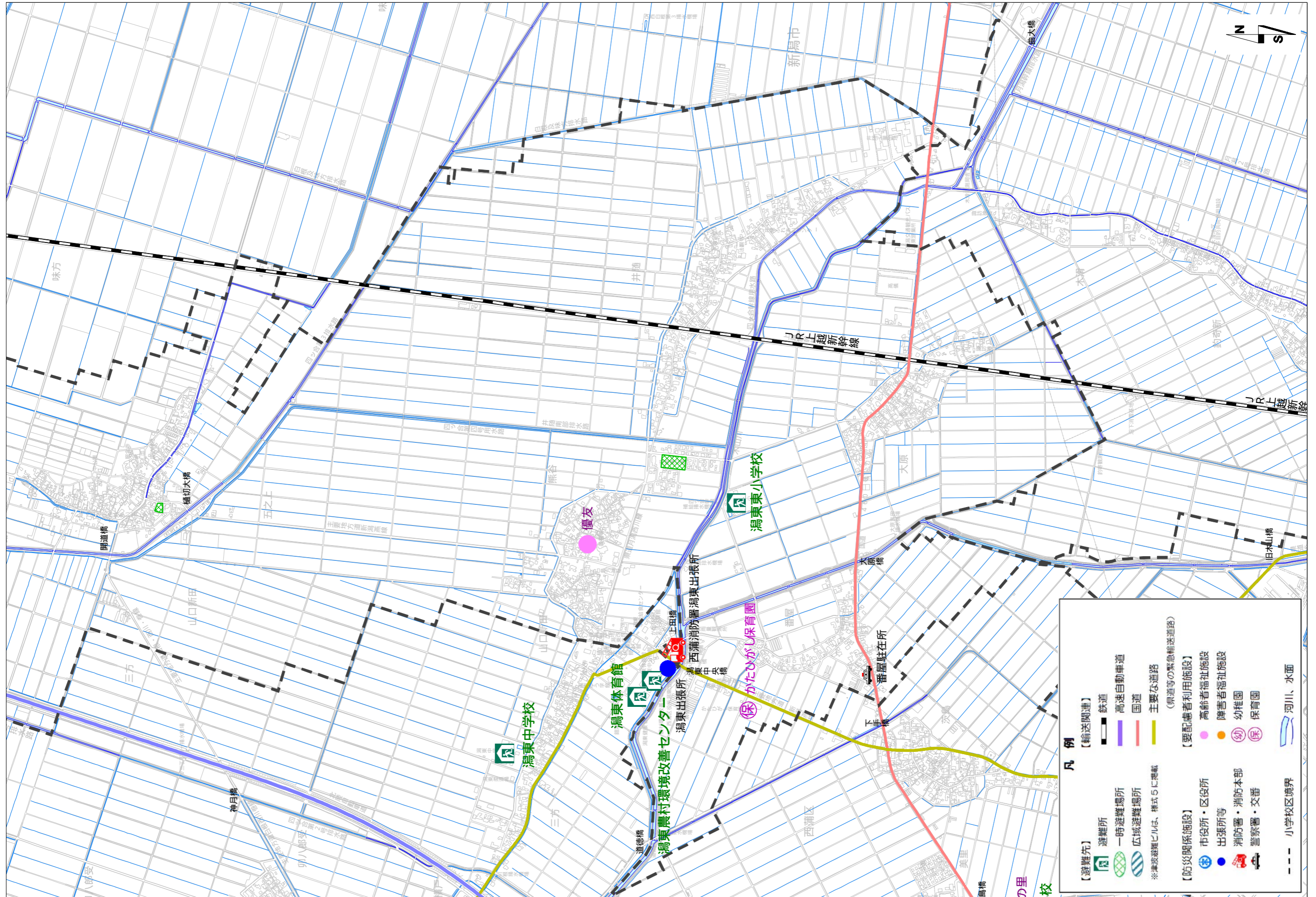
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。
【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>
モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。

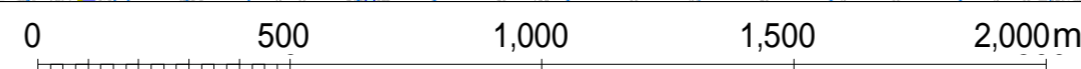


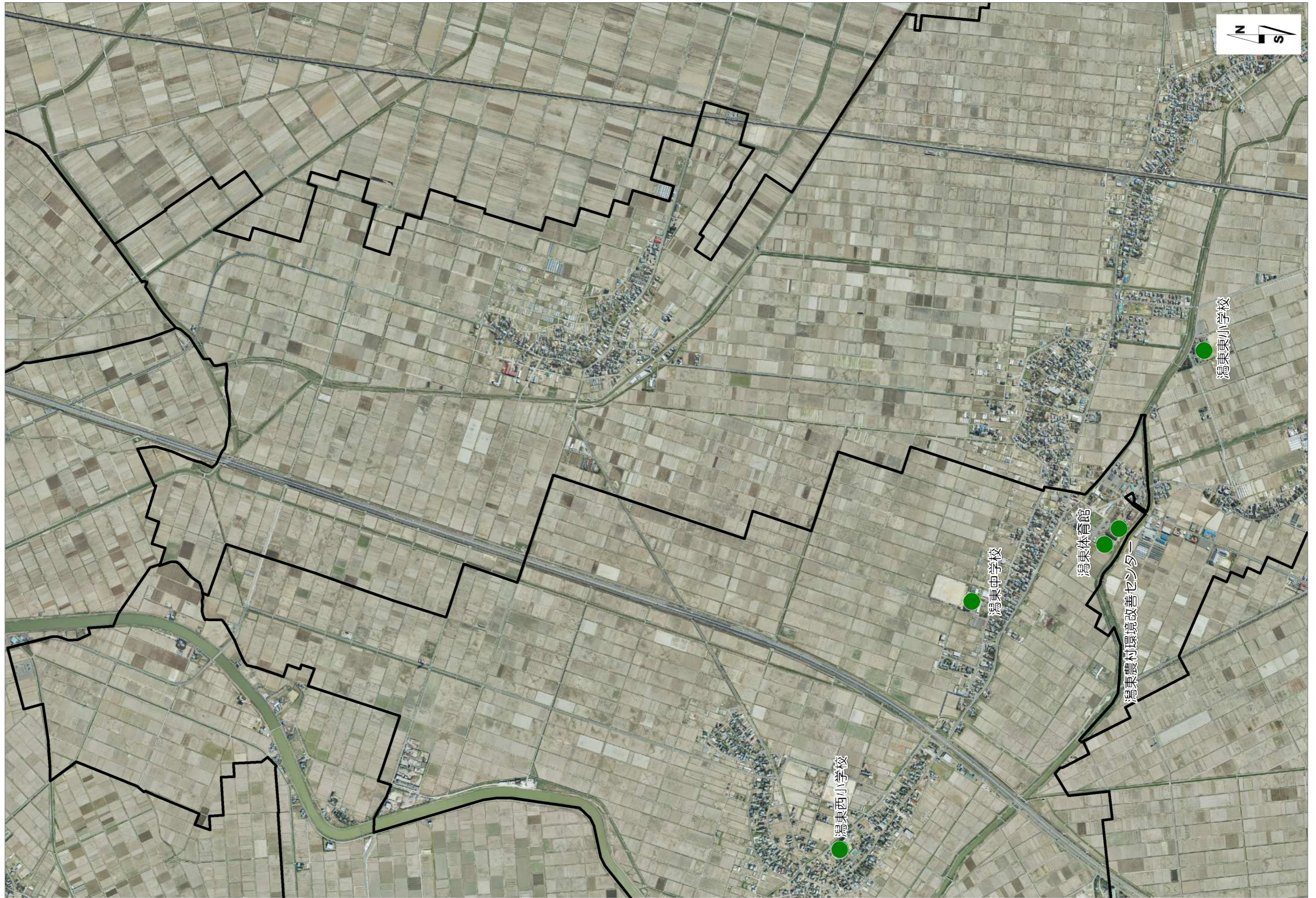
← は、断層の傾きを示しています。



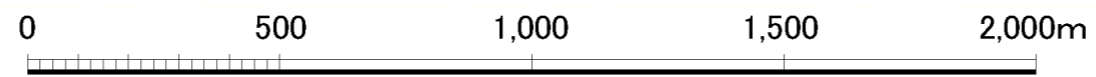


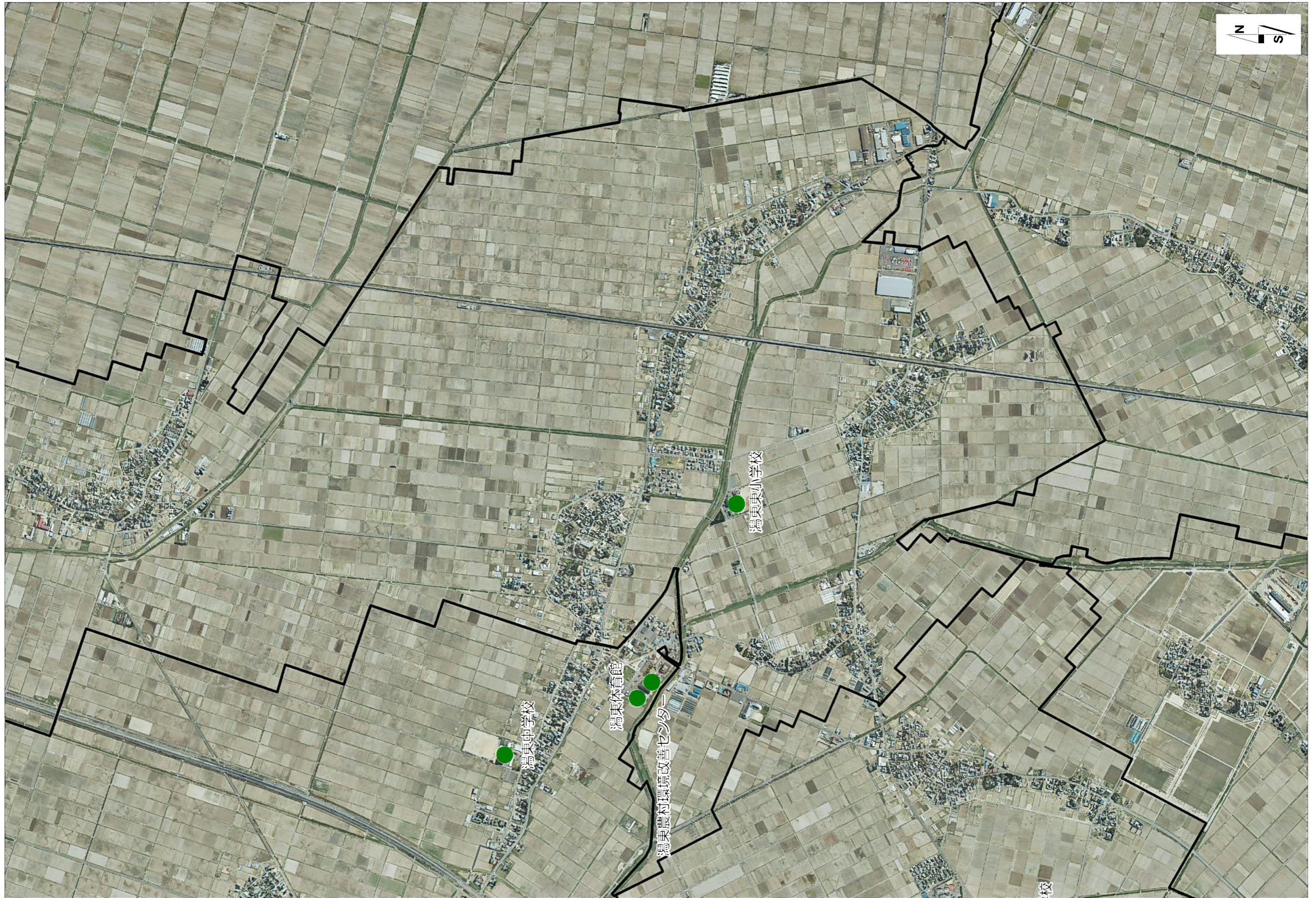
[出典] 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年)



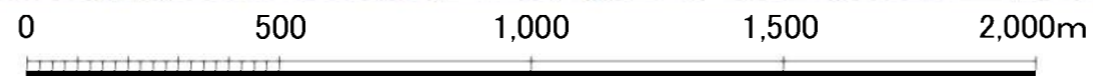


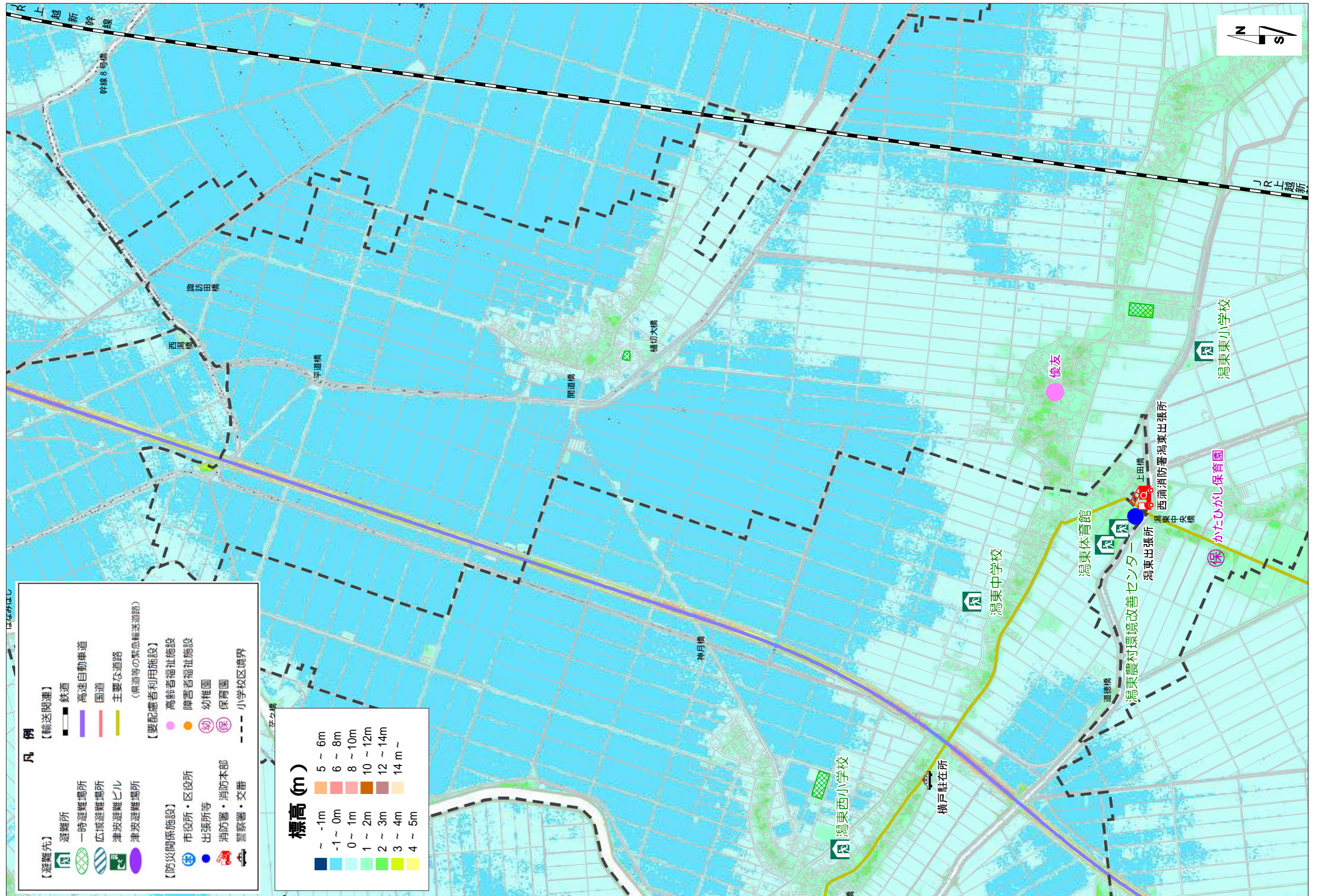
〔出典〕 航空写真(平成26年4月)



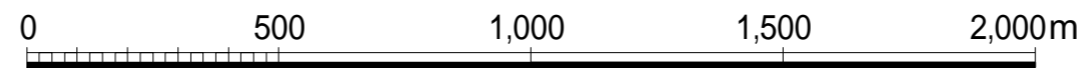


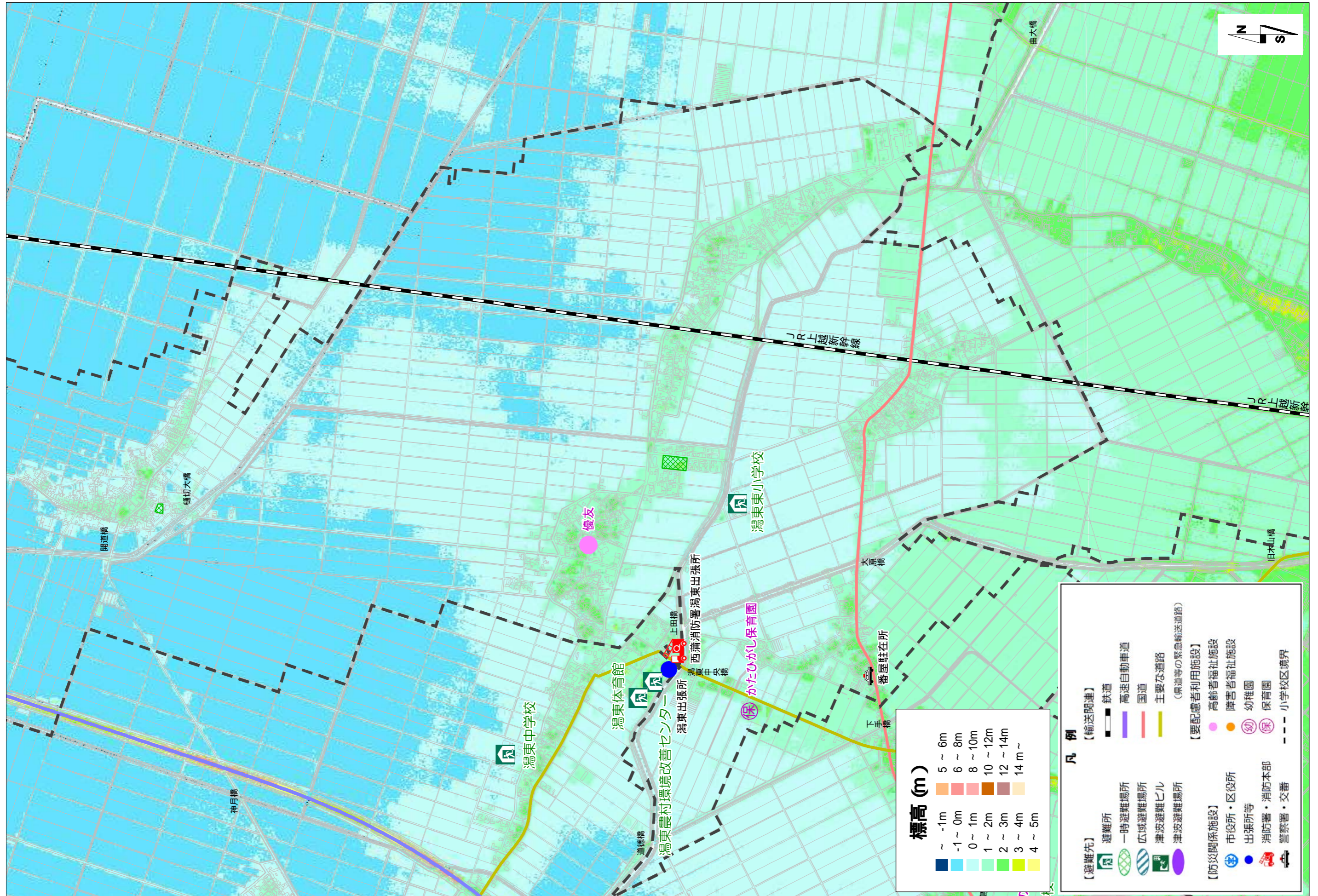
〔出典〕 航空写真(平成26年4月)





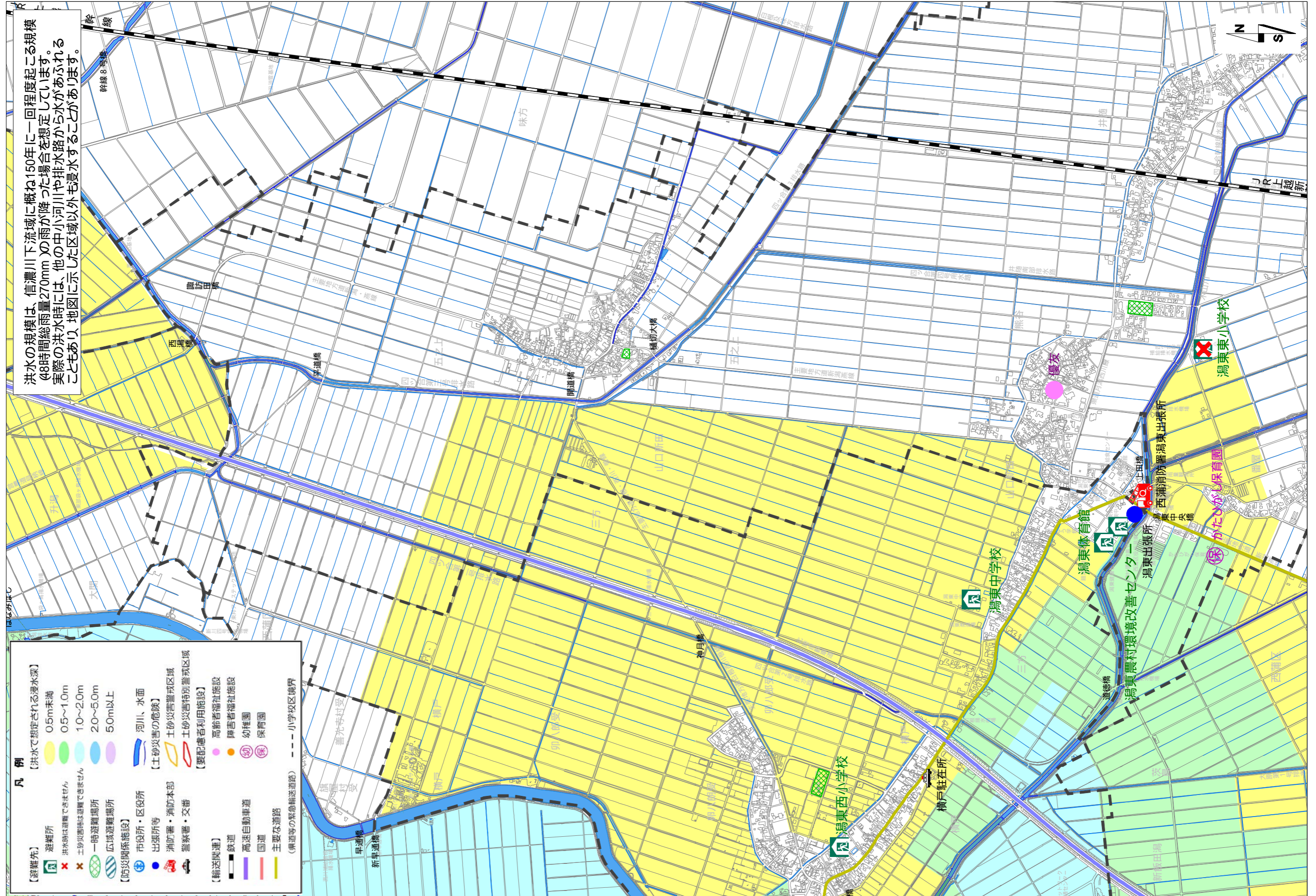
[出典] 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)
 5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)



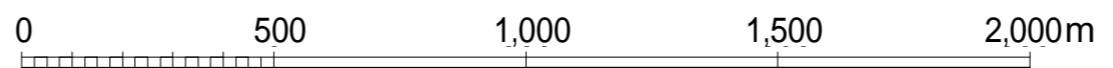


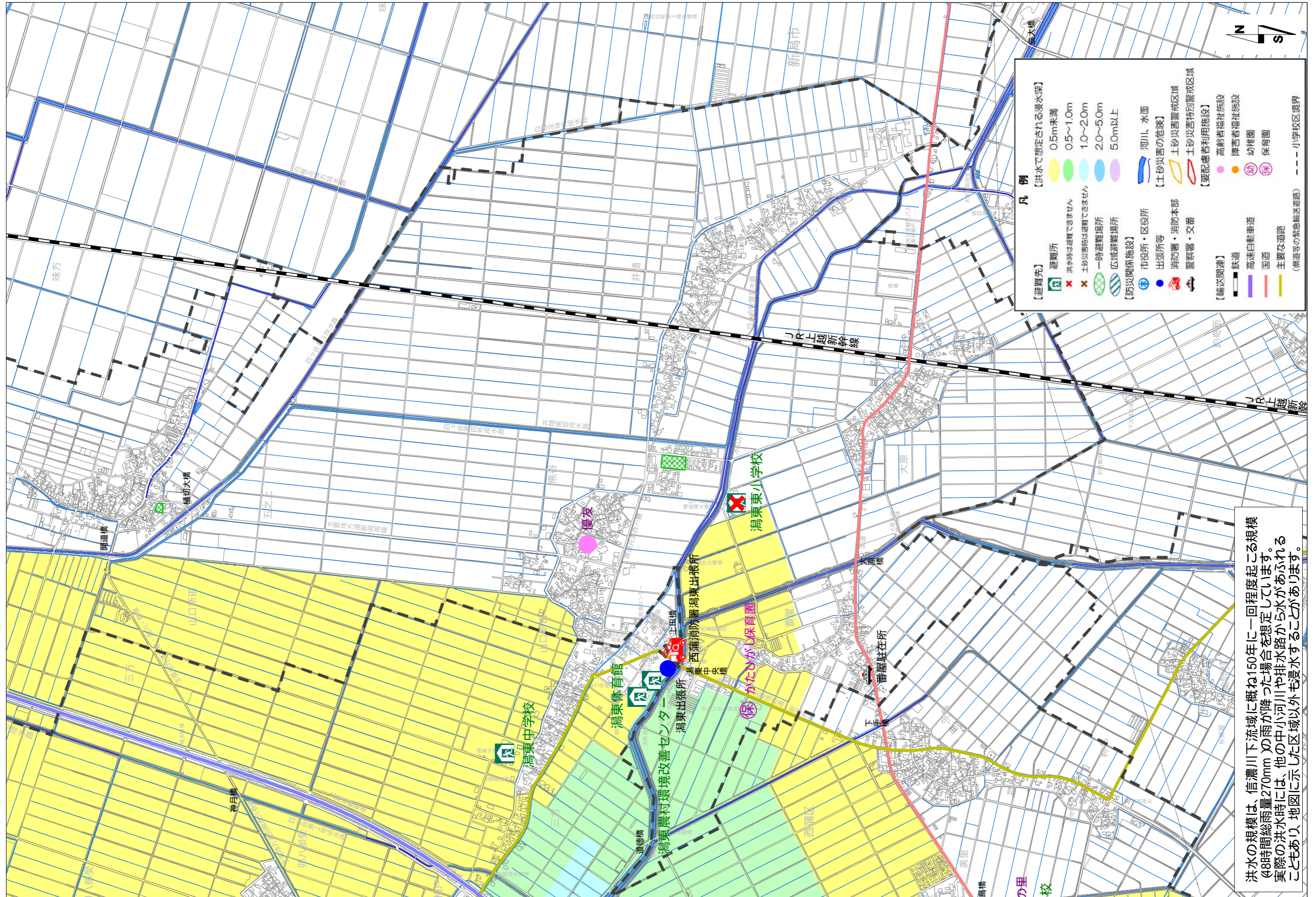
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年) 5mメッシュDEM (国土地理院,平成25年)

0 500 1,000 1,500 2,000m



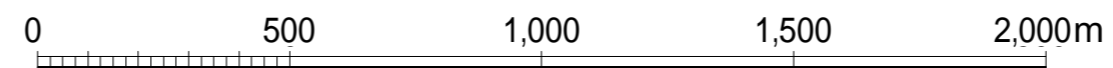
【出典】 基礎の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
 信濃川下流浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)

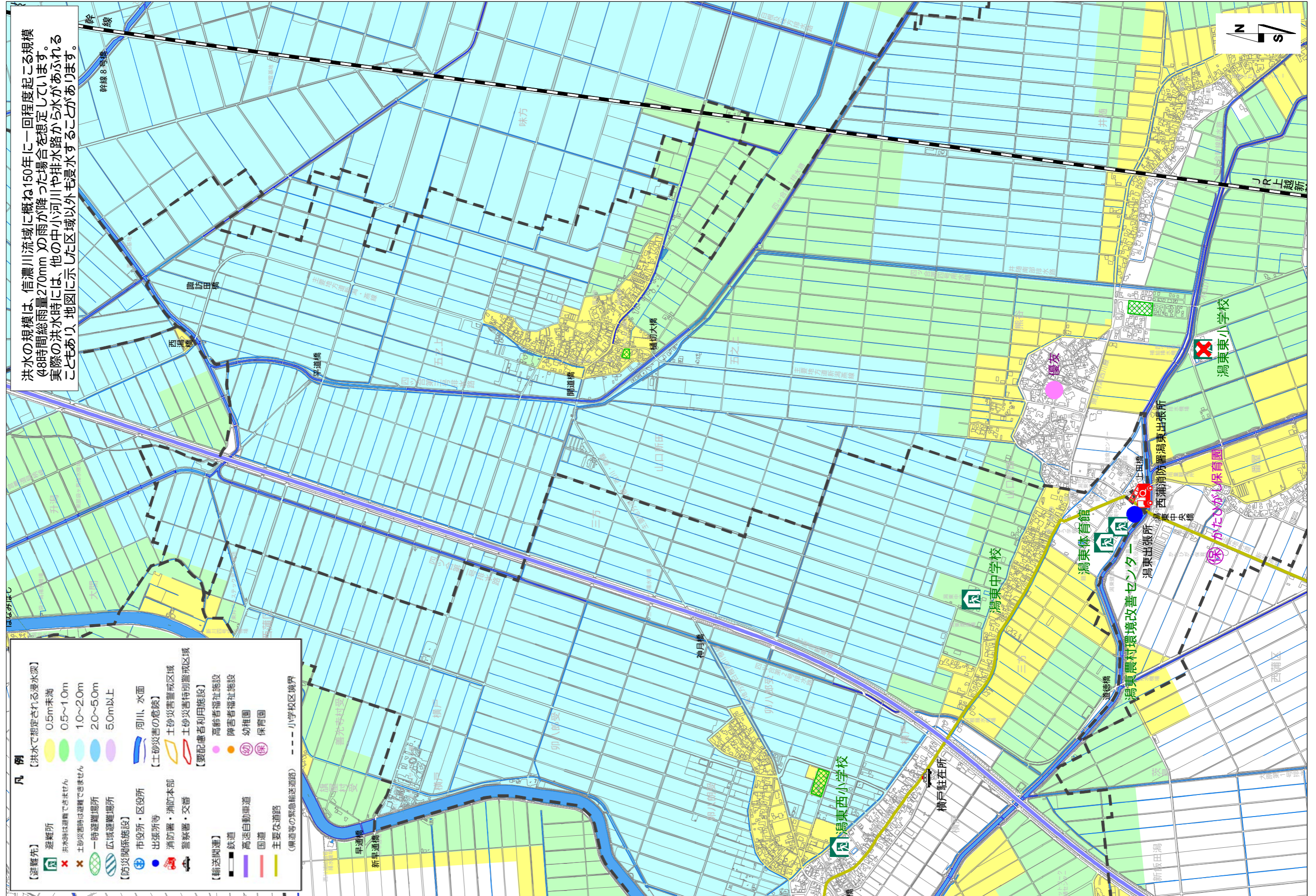




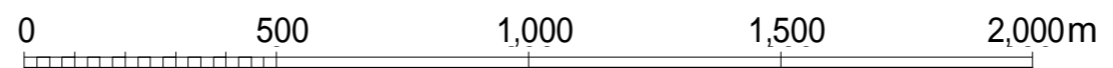
洪水の規模は、信濃川下流域に概ね150年に一回程度起こる規模(48時間総雨量270mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

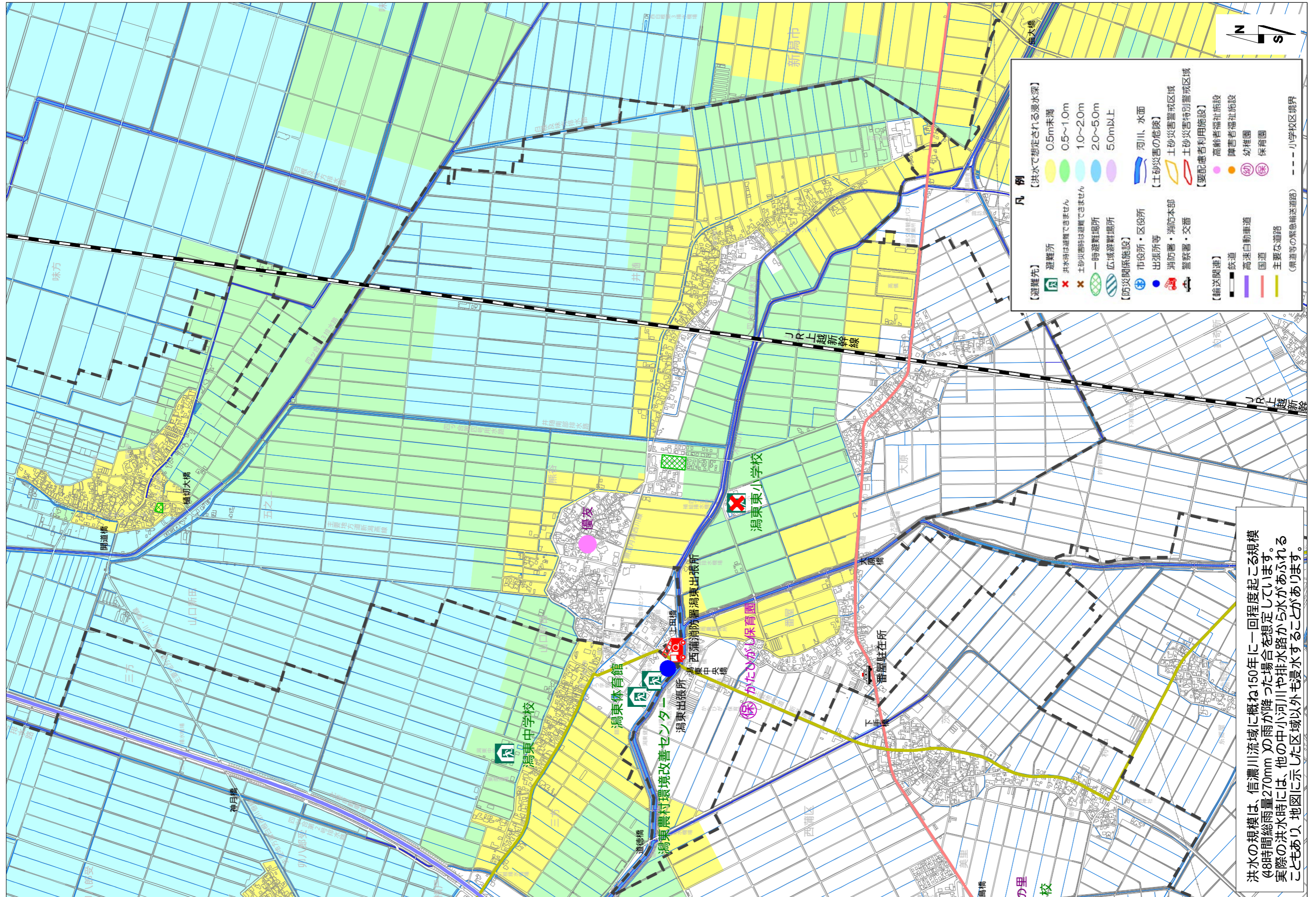
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
 信濃川下流浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)





【出典】 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年) 中ノ口川浸水想定区域 (新潟県,平成16年6月15日)





凡例

【洪水で想定される浸水深】
 0.5m未満
 0.5～1.0m
 1.0～2.0m
 2.0～5.0m
 5.0m以上

【避難先】
 避難所
 洪水時は避難できません
 土砂災害時は避難できません
 一時避難場所
 広域避難場所

【防災関係施設】
 市役所・区役所
 出張所等
 消防署・消防本部
 警察署・交番

【河川、水面】
 河川、水面
 土砂災害の危険
 土砂災害警戒区域
 土砂災害特別警戒区域

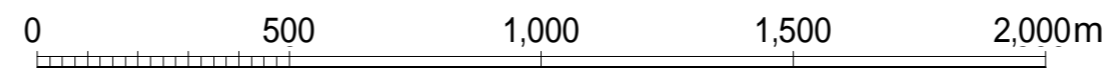
【要配慮者利用施設】
 高齢者福祉施設
 障害者福祉施設
 幼稚園
 保育園

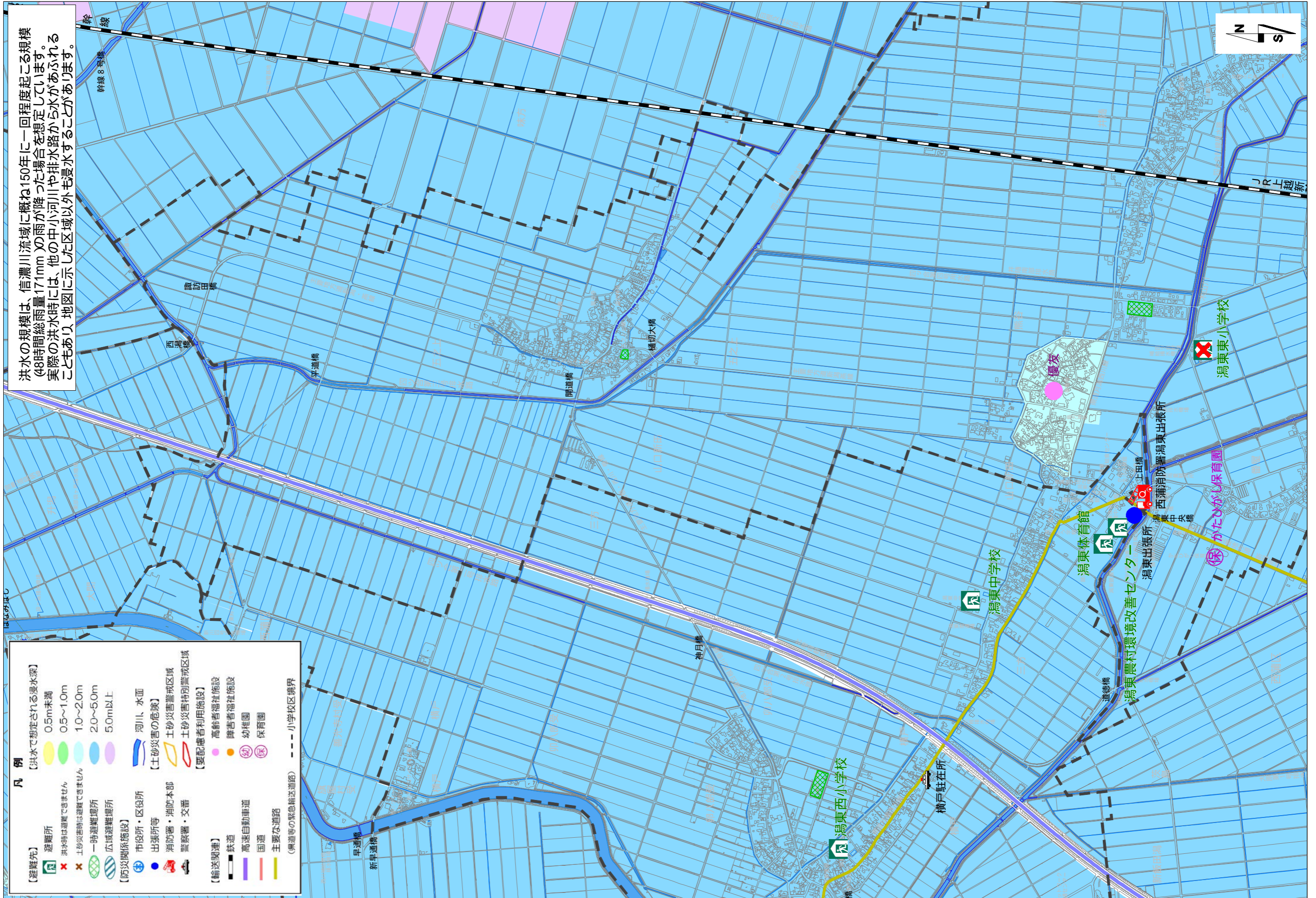
【輸送関連】
 鉄道
 高速自動車道
 国道
 主要な道路
 (県道等の緊急輸送道路)

--- 小学校区境界

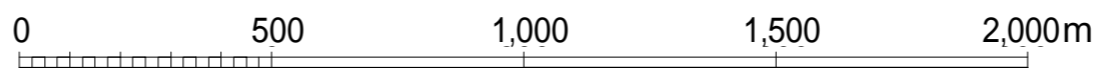
洪水の規模は、信濃川流域に概ね150年に一回程度起こる規模(48時間総雨量270mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

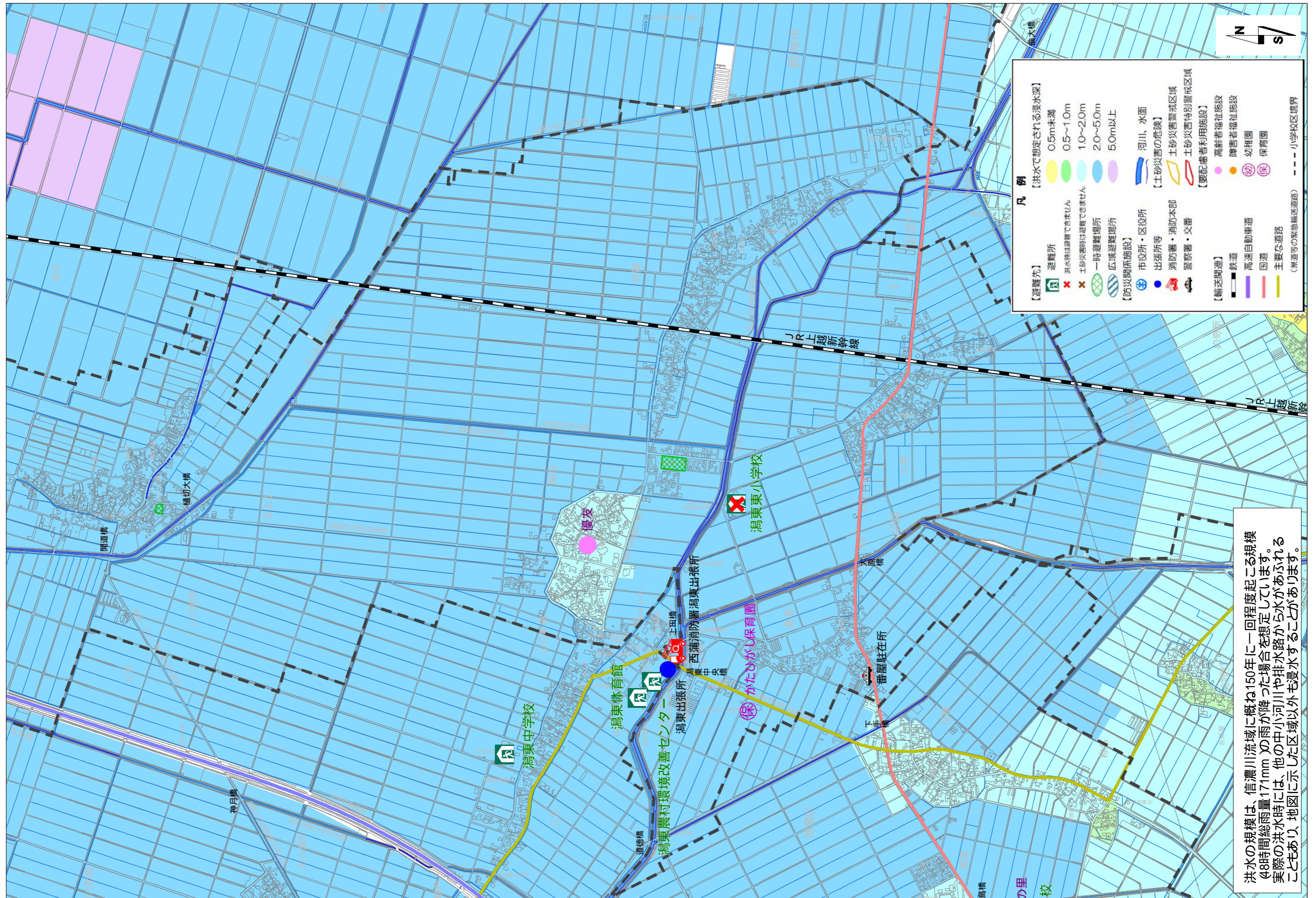
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
 中ノ口川浸水想定区域(新潟県,平成16年6月15日)





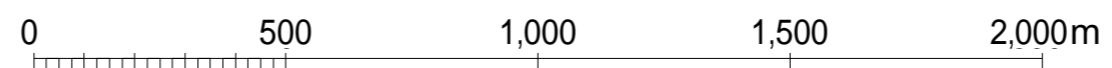
【出典】 基礎の地図 新潟市国土基本図（平成20年，平成25年，平成26年）
大河津分水路浸水想定区域（国土交通省，平成14年4月30日）

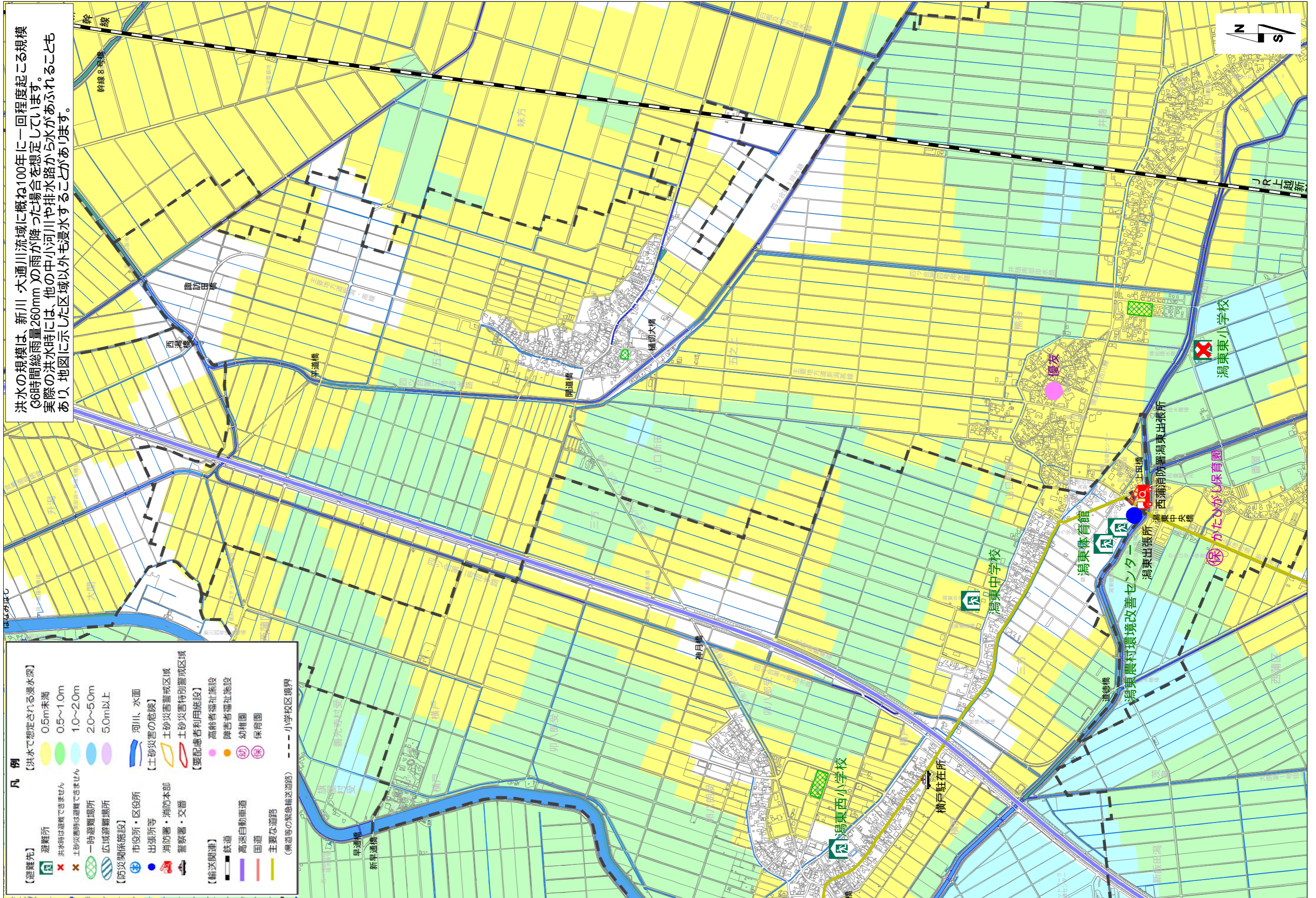




洪水の規模は、信濃川流域に概ね150年に一回程度起こる規模(48時間総雨量171mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
大河津分水路浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)

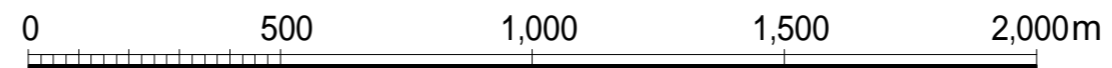


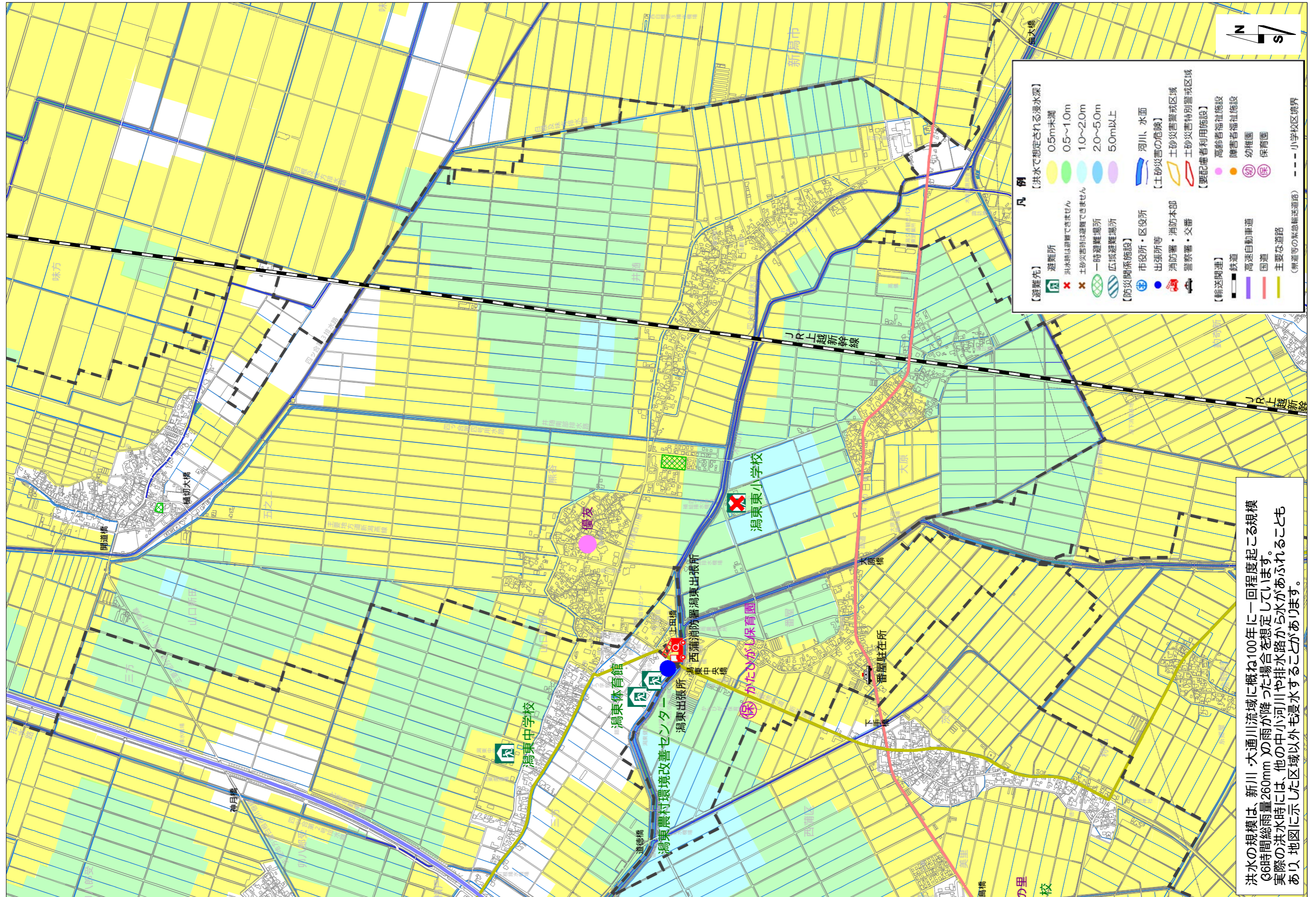


洪水の規模は、新川・大通川流域に概ね100年に一回程度起こる規模
 (36時間総雨量260mm)の雨が降った場合を想定しています。
 実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることも
 あり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

- 凡例**
- 【避難先】**
 避難所 (緑の建物アイコン)
 洪水時は避難できません (赤のX)
 土砂災害時は避難できません (赤のX)
 一時避難場所 (緑の建物アイコン)
 広域避難場所 (緑の建物アイコン)
- 【防災関係施設】**
 市役所・区役所 (青の建物アイコン)
 出張所等 (青の建物アイコン)
 消防署・消防本部 (赤の建物アイコン)
 警察署・交番 (赤の建物アイコン)
- 【輸送関連】**
 鉄道 (黒の線)
 高速自動車道 (赤の線)
 国道 (赤の線)
 主要な道路 (黒の線)
 (県道等の緊急輸送道路) (黒の線)
- 【土砂災害の危険】**
 河川、水面 (青の線)
 土砂災害警戒区域 (赤の線)
 土砂災害特別警戒区域 (赤の線)
- 【要配慮者利用施設】**
 高齢者福祉施設 (赤の建物アイコン)
 障害者福祉施設 (赤の建物アイコン)
 幼稚園 (赤の建物アイコン)
 保育園 (赤の建物アイコン)
- 浸水想定される浸水深**
 0.5m未満 (黄色)
 0.5~1.0m (緑)
 1.0~2.0m (青)
 2.0~5.0m (水色)
 5.0m以上 (紫)
- 小学校区境界** (黒の点線)

【出典】 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年、平成25年、平成26年)
 新川・大通川・広通川・西山川・大通川放水路浸水想定区域 (新潟県、平成20年2月26日)





洪水の規模は、新川・大通川流域に概ね100年に一回程度起こる規模
 66時間総雨量260mm)の雨が降った場合を想定しています。
 実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれること
 あり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
 新川・大通川・広通川・西山川・大通川放水路浸水想定区域(新潟県,平成20年2月26日)

